

たなかクラブだより令和2年12月号

大会名	種目	成績
東アジアホープス・県予選	男子ホープス	2位高岩睦生（代表逃す）
全国小学生選抜神奈川県予選	6年男子	2位涌井唯羽（県代表）
神奈川県カデット選手権	女子個人戦	5位篠崎美姫
関東高校選抜大会（学校対抗）	男子団体戦	三浦学苑高校（遠藤駿・篠崎悠太他）全国選抜代表

全国ホープス選抜神奈川県予選 唯羽君が県代表

この大会は小学6年生2名、小学5年生1名の合計3名でチームを組む都道府県対抗団体戦の神奈川県予選です。唯羽君は大会前から代表を目指して気合の入った練習をしました。そして、この日は最近課題としていた前陣でのプレーが光りました。特に最近も負けている苦手としていた選手に対して積極的に攻めて勝った試合は素晴らしい内容でした。全国大会は3月末に徳島県で開催されます。コロナが下火になり大会が開催されることを祈っています。



涌井唯羽



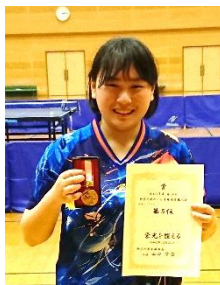
（県代表メンバー）持田陽向・涌井唯羽・西沢凜太



涌井父 川口コーチ 唯羽 田中監督

神奈川県カデット選手権女子個人 篠崎美姫さん5位入賞

この大会は中学2年生以下の県内オープンの個人戦です。結果は準々決勝で、**篠崎美姫 2-3 藤間澤（横須賀リトル）**。準々決勝は1-2セットを取り3-4セットを取られ、5セット目は10対8のマッチポイントを握っていた所から追いつかれ、最後は13対15で敗れました。しかし強い相手に対してとても良い試合ができました。



東アジアホープス大会県予選 睦生2位も・・・

この大会は来年夏の本大会の日本代表選考会大会出場を決める神奈川県予選です。対象は小学5年生以下で代表1名です。睦生は予選リーグ1位で決勝リーグに進出。代表決定戦は全勝同士の対戦となり1セット先取後3セット取られて2位になり惜しくも代表を逃しました。しかし内容の良い試合でした。



嬉しい来訪者 今年就職したクラブ卒業生の女性2人が挨拶に来てくれました。その中で感謝の言葉と、とてもうれしく思った、入社時のエピソードを聞いたのでその一部を皆さんに紹介します。

日本最大手の保険会社に入社したKさんですが、入社試験の面接でいきなり「あなたのターニングポイントを教えてください」と言われたそうです。そこで「私はまだ経験していませんが心掛けていることがあります。中学時代に通った卓球クラブの監督さんはその昔、学業を選ぶか卓球を選ぶかで悩んだ末に世の中の常識とは逆の卓球を選びました。そして全日本に何回も出場して3位にもなっています。やがて卓球場を作り私たちはとても親切に指導して頂きました。もし私がそのような場面に出会ったら尊敬する監督さんのように勇気を持った選択をしたいと思っています」また、入社後の仕事について質問された時、「クラブでは目標を持って練習すること、失敗を課題にすることや毎日ノートを書くことなどを厳しく指導されました。仕事も目標を持って積極的にしたいと思っています」と答えたそうです。

困難辛苦 全て師なし

こんなんしんく すべてしなり

「とてもつらい状況の時にそれを解決するために学ぶことは師匠に教えてもらっているのと同じだ」と言う意味です。この言葉は、若い頃読んだ戦国武将の物語の中で山中鹿之助の言葉として紹介されています。当時かなりきびしい生活をしていました。この言葉に強く感動しました。

【エピソード】六十歳の会社定年で職場の皆さんに送別会をしていただいた時のことです。最後の挨拶で「私は今日、百五十歳の誕生日を迎えました。と言えるほど中身の濃い充実した人生を送ることが出来ました。」

それは『困難辛苦全て師なし』の言葉を自分に言い聞かせてきたお蔭だと思っています。

この職場で約三十年仕事をさせて頂きました。音などを聞いた人がいたら一万円ずつ差し上げますので申し出下さい」と言いました。この言葉でその場が一瞬ざわつきました。そして、送別会から退職までの約二週間の間、休憩室はこの話でもちぎりだったようですが誰からも申し出は有りませんでした。

技術課の仕事は自分の能力以上のものばかりでしたが、難しいほど挑戦が楽しく、ファイアウトが出て何件もの特許取得や改良で社長賞十八回受賞など百億円以上の利益を達成しました。卓球でも全国大会出場50回、全日本社会人三位、指導した選手の県代表五十名育成、卓球場を作る等、この言葉は私に無限のエネルギーを与えてくれたと感謝しています。

「困難辛苦」は誰もが避けたいと思います。

しかし、そこが人生の分かれ道です。頑張った人には必ず大きな成果が待っています。



当時の名刺の写真